

	感染リスク	飼育環境	昨年の予防	検査の実施
 <i>Dirofilaria immitis</i>	5：極めて高い	保護犬歴あり	不明	フィラリア検査必須
	4：高い	外飼育	予防していない	フィラリア検査必須
	3：中等度	室内飼育＋散歩	飲み忘れあり	フィラリア検査推奨
	2：低い	室内飼育＋散歩	通年 予防している	一般血液検査
	1：極めて低い	室内飼育・散歩行かない	通年 予防している	一般血液検査

当院独自のフィラリア感染リスク評価

「感染リスク5」が最も高く「1」が感染リスクが低い

感染リスクが低い方も動物は日常会話で体調を汲み取ることができませんので年1回は血液検査を推奨します。（夜間の体調不良の時にも日中の血液検査結果があれば少し安心できます！）